

◎ よもよも原稿 2020.4月～3月

月	赤ちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
4,5	<p>『もぐらのさんぽ』 園松エリカ/作・絵 チャイルド本社</p>  <p>土の中をおさんぽしている、もぐらちゃん。地上にいるどうぶつたちを「いないいないばー」とおどろかせます。おひるねをじゃまされて怒った犬くんが、もぐらちゃんをつかまえようと土をほりはじめますが…。いっしょに「ばー」といったのしんでください！</p>	<p>『うたえほんⅢ』 つちだ よしほる/え グランまます</p>  <p>さくらさくら、おお牧場はみどり、ピクニックなど全部で26曲入った、『うたえほん』の第3集です。歌詞の内容を表現したかわいくて温かみのある絵本です。かぞくみんなで楽しめる歌が入ってます。楽譜付きです。</p>	<p>『てんとうむしのてんてんさん』 高家博成・仲川道子/作 童心社</p>  <p>てんとうむしのてんてんさんは、ナナホシテトウ。友だちと背中のおちおちのくらべっこをしてあそんでいると、いやなカナヘビがやってきた。てんてんちゃんにはひみつつの武器があるんだけど、カナヘビをやっつけられるかな？</p>
6,7	<p>『くだものばっくん』 真木文絵/さく 石倉ヒロユキ/え 岩崎書店</p>  <p>ばくばくばっくん あーおいしい！いろんな動物たちがおいしそうなくだものを ばっくんとたべていきます。おもわず手がのびてしまいうまいおいしいえほんです。</p>	<p>『ごはん たべよ』 大阪YMCA千里子ども図書館/ぶん 福音館書店</p>  <p>ほかほかごはん おいしいみそしるみんなどは あさごはん たべてますか？パランスのよい 彩りの良いごはんが食欲をそそる一冊です。</p>	<p>『きらいきらい！』 武田美穂/さく・え 童心社</p>  <p>きらいなたべものって だれにでもあるよね？体にいいから たべなさいってママはいうんだけど…。ほくも いつかきらいなものもたべられるようになるのかな？ 「みんないっぱい食べて大きくなーれ！」</p>
8,9	<p>『ねないこだれだ』 せなげいこ/さく・え 福音館書店</p>  <p>いつまでもねないこだれだ！夜おそくおきているのはふくろうにみみずく、くろねこ、どらねこ、それに…。なかなか寝てくれない赤ちゃんとおやすみの前によみたい絵本です。</p>	<p>『おばけだじょ』 t upera tuperu/さく 学研教育出版</p>  <p>「おばけだじょ」っておどかしてくる黒くてまーいおばけの正体はいったいなんなのでしょう？まさかの展開にハラハラドキドキの一冊です。</p>	<p>『いちにちおばけ』 ふくへあきひろ/さく かわしまなえ/え PHP</p>  <p>おばけってこわいなあ。いちどおばけになってみたら怖くなるのかな？一日だけならおばけになってみてもいいかも！くちさけおんなにミイラおとこ、意外とたのしいおばけの世界！みんなはどんなおばけに変身してみたい？</p>
10,11	<p>『こどりは こどりは 木でねんね』 チョン・スニ/作 松谷みよ子/訳 童心社</p>  <p>「ねんねん ねんねん ねんねんよ」こもりうだにのせて、お母さんがやさしく赤ちゃんに語りかけます。変わらない親から子への愛を、やさしい絵と語りで届けます。</p>	<p>『よじはん よじはん』 ユン・ソクチュン/ぶん イ・ヨンギョン/え 福音館書店</p>  <p>小さな女の子はお母さんに言われて、おとなりさんの家へ行きます。それから次々にかわいいお友達と会ってしまっただけでなかなか家に帰れません。女の子のほのほのとした、かわいらしいお話。</p>	<p>『ここがにこり』 金森襄作/再話 チョン・スクハン/画 福音館書店</p>  <p>ある山里ではたらき者の百姓が一休みしようと木陰で休んでいました。ところがいじわるな地主は「そこをどけ」と言って横取りします。そこで百姓達はその木陰を買い取って…。子供も大人も楽しめるゆかいなおはなしです。</p>
12,1	<p>『ももんちゃんのおしのおし』 とよたかすひこ/さく・え 童心社</p>  <p>ももんちゃんがひとりであそんでいると、おしのおしさんがやってきました。いっしょにさんぽにかけたももんちゃんとうしさん。たのしいおさんぽができるかな。</p>	<p>『うしのもーさん』 風木一人/作 西村敏雄/絵 教育画劇</p>  <p>おおきなおおきなうしのもーさんはとってももちからもち。おおきなせなかにみんなのをのせてのんびり歩いていく。気持ちよさそうな姿をみて自分もってみたいうしさんをみんなはもちあげられるかな。</p>	<p>『くいしんぼうのはなこさん』 いしいももこ/さく なかたにちよこ/え 福音館書店</p>  <p>くいしんぼうのはなこはとってもわがママ。好きなものをたくさん食べてかわいられて育ちました。山の牧場に行っても女王のようにふるまい、おみやげのいもやかぼちゃもひとりじめ。 そんなはなこにおこった事件とは？</p>
2,3	<p>『しろいおひげ なにたべた？』 Miya Uni/さく 角川書店</p>  <p>「おやおや？ おくちにつけた おひげなにたべた？」ページをめくる度にいろんな おかとおひげが出てきます。</p>	<p>『おすわり どうぞ』 しもかわら ゆみ/作 講談社</p>  <p>ねずみさんの いすは こんないすりすさんの いすは あんないすいろいろな動物たちのいろいろなすが出てきます。うつくしい絵もステキな語りかけ絵本。</p>	<p>『おちゃかいのおやくそく』 エイミー・ダイクマン/文 K.G.キャンベル/絵 林木林/光村教育図書</p>  <p>においにたづねられて森からやってきたこぐま。おいしいクッキーをつまみ食いしようと思いますが…。女の子に付き合わされるこぐまの姿に、思わず笑っちゃうおはなし。</p>

◎ よもよも原稿 2020.4月～3月

月	ていがくねんから	中学年から	高学年から
4,5	<p>『はるのくさばなあそび』 佐野 高太郎/写真 ひさかたチャイルド</p> <p>この絵本では、レンゲソウの花の茎を、絡ませながらあんでかんむりにしたり、開く前のタンポポの綿毛をピンに入れて綿毛のピンづめを作っています。写真をヒントに、外であそんで自然を身近に感じましょう。</p>	<p>『たんぼぼ』 荒井真紀/文・絵 金の星社</p> <p>春になると、たんぼぼは茎を高くのぼして、あざやかな黄色い花を咲かせます。花が枯れると、たくさんの綿毛になって、白いボールのような姿になります。たんぼぼの一生を、細密に美しく描いています。たんぼぼの観察に役立つヒントが盛りだくさんです。</p>	<p>『ねっこぼっこ』 ジュビレ・フォン・オルファース/作 楽 理絵子/訳 平凡社</p> <p>「ねっこぼっこ」は、野の花やちいさな虫たち。「さあおきなさい、もうすぐ春がやってくる」大地のかあさんの声で土の中の「ねっこぼっこ」は目覚めます。100年以上読み継がれている絵本です。子ども達の成長を描いた一冊。</p>
6,7	<p>『いのちをいただく』 坂本義喜/原案 内田美智子/作 講談社</p> <p>みんな一人にひとつ大事な命。牛のみいちゃんだってそうなんです。坂本さんの仕事を通して、命の大切さ、毎日食事ができることへの感謝の気持ちが学べる、親子で読みたい食育の本です。</p>	<p>『男子☆弁当部』 イノウエミホコ/作 東野さとる/絵 ポプラ社</p> <p>ソラは料理のできる小学生。ある日クラスメイトのユウタやタケルたちと男子弁当部を作ることに！月に一度のお弁当デーに向けて、元気いっぱい男子だけの弁当部が動き出します。</p>	<p>『がんばれ給食委員長』 中松まるは/作 石山さやか/絵 あかね書房</p> <p>くじきで給食委員長になってしまった、ゆうな。あるできごとをきっかけに、給食に関わる問題を友達や先生たちと解決していきます。高学年になってみんなをまとめていくことの大変さと子どもたちの成長を描いた一冊。</p>
8,9	<p>『オニのきもだめし』 岡田よしだか/作 小学館</p> <p>みんなに恐れられているオニ。そんなオニにだって怖いものがあるんです！ なんだかおぼけが出そうなこわい道を家へと急ぐふたりの赤オニ。 そんな赤オニたちに起こったびっくりする出来事とは！怖くておかしな物語。</p>	<p>『学校ななふしぎ』 斎藤洋/文 山本孝/絵 偕成社</p> <p>夜の学校に行ってはいけません。もし行ってしまったら、いつもの教室と全然様子が違っているかも。トイレの花子さんや音楽室のベートーベン。学校にまつわる七不思議のお話。みんなの学校にもこんな不思議なことが起こっているかも！</p>	<p>『本当にあった？恐怖のお話 一怪一』 たからしげる/編 PHP</p> <p>決して入ってはいけないという「戻らずの森」に足を踏み入れたぼくと浩ちゃん。歩いても歩いても帰りがけない森に現れる同じお地蔵さま…ぞわっとするラストが待っています。作者の身の回りで本当にあった出来事をもとにした恐怖の短編アンソロジー。</p>
10,11	<p>『ふしぎなしろねずみ』 チャン・チョルムン/文 ユン・ミスク/絵 岩波書店</p> <p>ある日、寝ているおじいさんの鼻から白いねずみが出てきて、おばあさんをおどろかせます。おばあさんがねずみを追いかける間、おじいさんはふしぎな夢を見ていました。韓国に伝わる昔話をもとにしたユニークな絵本です。</p>	<p>『つくって楽しい！世界のスイーツ』 宮沢うらら/著 汐文社</p> <p>あなたは世界のスイーツ、どんなものを知っていますか？多くの写真を使って、いろいろな国(くに)のスイーツの作り方を教えます。簡単だから、たくさん作ってうち時間を家族で楽しみましょう！</p>	<p>『旅する子どもの韓国語 ソウル編』 コンテックス情報研究所/編著 成美堂出版</p> <p>音楽や文学、食べ物など、今韓国が大ブーム!!皆さん、韓国語を学んでみませんか？小学生からでも分かりやすいように、会話文には読み方と日本語がついていて、理解もバッチリ!!楽しく外国の言葉と文化にふれられる一冊です。</p>
12,1	<p>『はなのすきなうし』 マンロー・リーフ/おはなし ロバート・ローソン/え 岩波書店</p> <p>ふえるじなどというかわいい子牛はひとりで花のおいをかいているのが大好き。大人の牛になったふえるじなどはあることをきっかけに闘牛としてマドリッドへ行くことに！ さて戦うことなんて好きじゃないふえるじなどはどうなるのでしょうか？</p>	<p>『乳牛の絵本』 みとももりゆき/へん スズキコージ/え 農文協</p> <p>いつも身近にある牛乳はどうやってできているの？みんなの知らない牛の生活や牛乳からできるものを紹介します。 チーズやアイスクリームを自分でつくって食べてみよう！</p>	<p>『しあわせの牛乳』 佐藤 蕙/著 安田菜津紀/写真 ポプラ社</p> <p>日本でもめずらしい山で牛を育てる牧場、なかはら牧場ができるまでの物語。 しあわせいっぴいの牛乳を作るため、牛たちと牧場長のあたらしい挑戦がはじまります。たくさんの命に支えられてできる牛乳から、命の大切さを学べる一冊。</p>
2,3	<p>『あれあれあれれ』 つちだ のぶこ/作 ポプラ社</p> <p>「あれどこ？」「あれはこれ！」 「あれなあに？」「これはあれでしょ？」 おかあさんは「あれ」だけでそれが何だか分かつちゃう。どうしてなんだろう？ 「あれ」という言葉にまつわる、たのしいお話。</p>	<p>『へんくつさんのお茶会』 楠草子/作 井田千秋/絵 学研プラス</p> <p>山のふもとでパンを焼いているのは、へんくつで有名な「へんくつさん」。小人のマリや動物たちとのふれ合いを通して、へんくつさんの本当のやさしさを感じることができます。最後の場面はとても感動的！皆さんは人にやさしくできていますか？</p>	<p>『はじめてまして、茶道部！』 服部千春/作 小倉マユコ/絵 出版ワークス</p> <p>幼なじみのナツメに巻き込まれて、茶道部に入部することになった陽介。茶道の所作やしきたりに苦戦しながらも、その世界にだんだん引き込まれていきます。和の心を学べる一冊。</p>